

# 卒業生に関するアンケート調査 結果報告

令和2年11月

広島文化学園短期大学

就職・キャリア支援センター

## 1 調査目的

卒業生就職先の企業等へ「求める人材の要件」等の調査を行い、教育の効果及び学生が修得した学修の成果等を把握し、その結果を本学の教育内容にフィードバックすることにより、更なる改善に資する。

## 2 調査期間

令和2年9月

## 3 調査対象

令和2年3月卒業生が就職した企業等

## 4 調査方法

自記式の調査用紙（記名式）

## 5 回収率

回答数	依頼企業数	回答率
91	151	60.3%

## 6 調査内容

- (1) 事業内容
- (2) 採用の際の重視度（3項目選択）
- (3) 卒業生の資質（5段階評価）
- (4) 改善すべき事項（自由記述）
- (5) 本学の教育内容・教授方法等についての意見（自由記述）
- (6) 本学の教育についての意見（自由記述）

## 7 調査結果

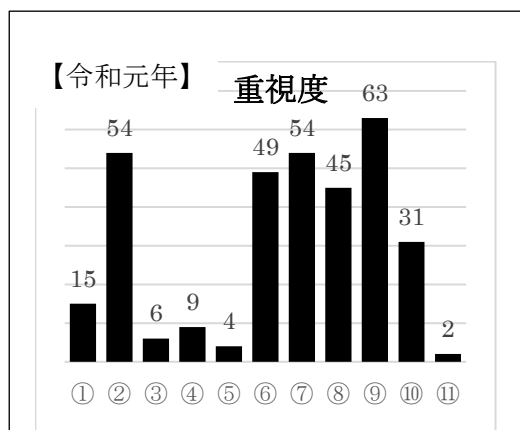
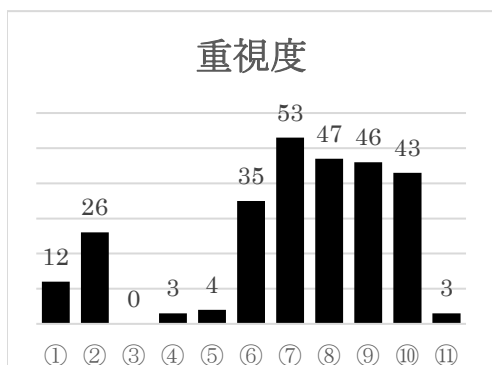
### (1) 事業内容

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
1	2		1		6	1		12		16	44		8

- ①建設 ②製造 ③電気・ガス ④情報通信 ⑤運輸・郵便 ⑥卸売・小売  
⑦金融・保険 ⑧不動産・賃貸 ⑨宿泊・飲食 ⑩娯楽 ⑪教育・学習支援  
⑫医療・福祉 ⑬複合サービス ⑭その他

## (2) 採用の際の重視度 (3項目選択)

企業が採用時に最も重視される項目は「⑦学ぶ姿勢・向上心」である。続いて「⑧責任感・誠実性・粘り強さ」「⑨コミュニケーション能力」であり、全般的にコンピテンシーの要素 (⑥～⑩) がリテラシーの要素 (①～⑤) よりも重視されている。

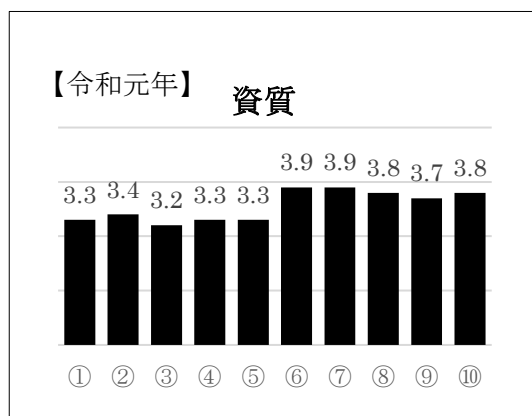
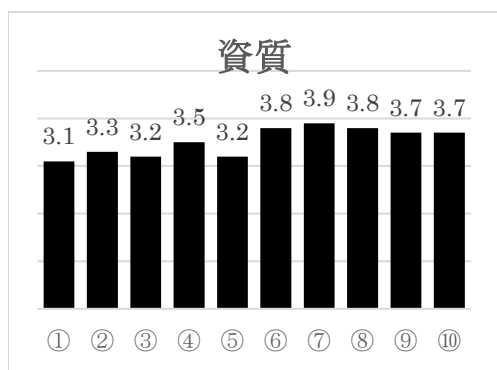


## (3) 卒業生の資質 (5段階評価)

卒業生の資質についての評価結果は5段階評価で3.1から3.9である。

評価が最も高いのは「⑦学ぶ姿勢・向上心」であり、逆に評価が最も低いのは「①専門的知識・技能」である。

全般的にコンピテンシーの要素 (⑥～⑩) がリテラシーの要素 (①～⑤) よりも高い評価となっている。



### ※ (2) (3) の選択肢

- |               |                |               |
|---------------|----------------|---------------|
| ① 専門的知識・技能    | ② 一般常識・教養・マナー  | ③ パソコン操作等の能力  |
| ④ 理解・判断力      | ⑤ 問題解決能力       | ⑥ 意欲・熱意       |
| ⑦ 学ぶ姿勢・向上心    | ⑧ 責任感・誠実性・粘り強さ | ⑨ コミュニケーション能力 |
| ⑩ 協調性・チームワーク力 | ⑪ その他          |               |

#### (4) 改善すべき事項 (自由記述)

「一生懸命頑張っている」「前向き、積極的に取り組んでいる」「一度教えたことが忠実に守られ、次へのステップアップのために何をすべきかを自ら考えて行動できる」そしてコミュニケーション力がある等、肯定的な評価を多く受けている。

しかし、一方では「ピアノ演奏技術」、「時間を守ろうとする姿勢」、「自分からも少し関わりをもとうとする態度」、そして「自分の考え、思いを伝えていく力、発信力」等について改善を期待するとの意見をいただいた。

意見が肯定的意見だけでなく、改善点にもあることから、個々の資質によるところが大きいと思われる。

#### (5) 本学の教育内容・教授方法等についての意見 (自由記述)

「素直な学生が育っている」「リスクマネジメント授業がありがたい」「十分な教育である」「明るく、子ども思いの学生が多い」等、肯定的意見がある。

その一方で、就職後、即戦力となるよう、その分野における「専門的知識・技能、社会性」、「パソコン操作の指導」等について更なる改善が望まれるとの意見もいただいた。